



平成11年度指定 高指第92号

藤田 正作

【雅号】玉峰 ぎよくほ

生年／昭和12年 指定技術名／漆器・彫刻 住所／高岡市関大町3-22



ふゆう・おどぶる

風遊・オードブル

数少ない漆器彫刻技術の継承者の一人である。切出し刀を使い、地肌透きをすることで作者ならではの彫り口の鋭い、くっきりとした楓の葉が浮かび上がっており、渦状に配された絶妙の構成は、作品全体に動きを与えている。鮮やかな茜色と相まって晩秋の日没直前を思わせる情緒ある作品に仕上がっている。中は対照的に黒漆で塗り上げられている洒落たオードブルの器である。

平成8年作

素材・技法／椀材・彫刻、漆塗

寸法／高さ7cm×幅36cm×奥行28cm

[表彰・受賞歴]

昭和52年 高岡市伝統工芸産業優秀技術者表彰
昭和55年 高岡伝統工芸加工技術振興展最優秀賞
全国漆器展日本経済新聞社賞
昭和59年 富山県デザイン展工芸部門努力賞
昭和60年 富山県伝統的工芸品展富山県知事賞
平成17年 瑞宝単光章
平成29年 高岡市民功労者表彰

[経歴]

昭和28年 室崎春雄氏に師事し漆器彫刻技術習得
昭和35年 高岡木彫会技術習得認定
昭和40年 独立自営、現在に至る
昭和58年 高岡市働く婦人の家高岡彫教室講師
(～平成15年)
昭和62年 伝統工芸士に認定
平成 8年 高岡市青年の家やさしい木彫教室講師(～10年)
平成12年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
平成27年 高岡市伝統工芸産業技術者
養成スクール講師(～29年)